

キリスト教礼拝音楽学会第8回大会案内

日 時 2008年6月7日(土) 10:00-16:30

会 場 日本キリスト教団 東梅田教会

(〒530-0055 大阪市北区野崎町 9-6
TEL06-6344-8894/FAX06-6314-9130
お問合せ: 080-6516-4269 塩谷

参加費 会員 ¥3,000 / 非会員 ¥4,000 / 後援団体関係者 ¥1,000

主 催 キリスト教礼拝音楽学会

後 援 WCC in 関西委員会 日本リードオルガン協会
関西キリスト教音楽講習会
パックスアーレン株式会社

■ プログラム

10:00-11:00 礼 拝 水野隆一
11:00-12:00 基調講演 金澤正剛
13:00-15:00 講 演 手代木俊一、新垣壬敏
15:00-15:30 ディスカッション
15:30-16:30 総 会



■ 交通アクセス

●大阪/梅田方面からお越しの方
JR西日本 大阪駅(大阪環状線・JR神戸線・JR京都線・JR宝塚線)
JR西日本 北新地駅(JR東西線)
阪急電鉄・阪神電鉄・地下鉄御堂筋線 梅田駅
地下鉄谷町線 東梅田駅
地下鉄四つ橋線 西梅田駅
※地下街“ホワイティうめだ”イーストモール(天上の電飾カラーが青色)のつき当たり、泉の広場M14出入口を左方向(扇町通り)側に出て下さい。4つ目の信号『神山』交差点を渡って右折。約50メートル。

礼 拝 **水野 隆一**

礼拝学が進展し、その成果が普及した結果、礼拝の「公同性」と「共同体性」が認識されるようになった。ところが、私見によれば、公同性を過度に強調することで、個々の礼拝出席者を包含する共同体性を捨象する現象が起きているように思われる。今回の礼拝では、この両者をリタージーの中に盛り込むことを試みたい。

基調講演 キリスト教と音楽 **金澤 正剛**

キリスト教音楽のルーツは、詩篇であると言えると思う。礼拝や集会で詩篇を歌うことは、もともとユダヤ教から受け継いだ習慣であるが、その重要性はアウグスティヌスをはじめとする初期の教父たちも述べているところである。さらに宗教改革においてカルヴァンは初心に戻って詩篇を歌うことが重要であると述べ、詩篇歌を造った。より音楽を重視したルター派のコラールや、英国国教会のアンセムにも詩篇が数多く含まれている。

講 演 キリスト教と音楽 -日本の讃美歌・聖歌史をとおして- **手代木俊一**

プロテスタント教会の礼拝ではその国の言語で行われる。このため明治期来日した宣教師は聖書、讃美歌・聖歌を日本語に翻訳しなければならなかった。しかし、音楽は西洋音楽を採用した。西洋音楽を日本語で歌う最初の試みが讃美歌・聖歌でもあった。この時どのようなことが起こり、どのように解決していったのであろうか、歴史的に辿ってみたい。

講 演 キリスト教と音楽 -作曲家の立場から- **新垣 壬敏**

キリスト教と音楽の関係を、作曲家の立場から論考するのが私に与えられたテーマである。形(作品)は内的要求の表出である。逆に、形として実現している内的要求を求めることが、作品を理解することに繋がって走る。キリスト教の音楽は、典礼(礼拝)と一体になっている音楽だから、典礼と音楽を分化して考えることが出来ない。キリスト教の音楽に携わる者は、形から出発し、背後にある内面にまで到達することが求められている。

参加申込: 5月26日(月)締切

添付の申込書に記入し、下記宛 **郵送・FAX・E-mail** のいずれかで申し込みください。

参加費は郵便振替口座(キリスト教礼拝音楽学会 東北地区部会02240-3-46335)に明細をご記入の上お振込下さい。

申 込 先

〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-48-12-501 手代木方 キリスト教礼拝音楽学会大会係

Tel/Fax: 03-3721-0891(手代木) E-mail: gammo@ka2.so-net.ne.jp